

# 第2回定例会 議決結果

◎=満場一致で可決

令和6年度 補正予算	一般会計／交通事業会計	◎
条 例	(一部改正) 函館市子ども・子育て会議条例／函館市税条例／函館市国民健康保険条例／函館市公営企業の設置等に関する条例	◎
	(制定) 函館市指定介護予防支援等の事業の人員および運営ならびに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例	◎
そ の 他	物品の購入契約 (3件) ／工事請負契約／専決処分の報告	◎

## 可決した意見書

令和6年第2回定例会では、1ページ目に掲載した意見書のほか、左記の意見書を可決しました。

- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書



議会だよりでは結果のみをお知らせしていますが、詳しい審査状況などについては、会議録や委員会記録(8月下旬までにホームページ等で公開予定)をご覧ください。

## 審査の概要

議案11件を原案のとおり可決

予算特別委員会

6/3・6/10

予算特別委員会分科会

6/4・6/5

予算特別委員会では、令和6年度一般会計補正予算をはじめとする議案11件について審査を行いました。委員会は、審査をより充実させるため、議長を除く全議員が委員となり、委員会内に各常任委員会が所管する事項と同様の事項を審査する総務・経済建設・民生の3分科会を設置し、付託案件を分担して審査しました。各分科会は、各議案について論点整理を行い、論点に基づく質疑により議案の疑義を解明した後、委員同士の協議によって議案の態度・賛否理由を取りまとめました。その後、委員会は各分科会から審査の経過と主要内容について報告を受け、採決を行いました。

各分科会の主な審査過程は次のとおりです。

## 総務分科会

議案6件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和6年度函館市一般会計補正予算(総務分科会関係部分)

○外部人材活用関係経費

- ・新たに予算化する理由
- ・想定する人材と人数
- ・今後のスケジュール

○新幹線函館駅乗り入れ検討調査費増

- ・市民説明会の開催理由と目的
- ・市民説明会の方法、回数
- ・協議する関係機関

○外部人材活用関係経費

○外部人材活用関係経費

人口減少等の重要課題について、専門的知見や経験を有する者から助言・提言を受けることを目的とした政策アドバイザーを設置するための経費であり、秋頃までに2回の意見交換会を開催したいと考えている。

○新幹線函館駅乗り入れ検討調査費増

調査報告書などについて、市民理解の促進や地域の意識醸成を図ることを目的として開催する市民説明会のほか、関係機関との協議に要する経費を計上したものである。

委員間の協議

○外部人材活用関係経費

外部の政策アドバイザーからのアドバイスに大変期待できる。

本市の喫緊の課題である人口減対策について、その分野で専門的な知見を有する方から市の現状を把握したうえで意見を伺えることは非常に有効な取組だと思ふ。